

Attracting Tomorrow



2019年3月期通期決算説明会

TDK株式会社
広報グループ
2019年4月26日

- 2019年3月期 連結業績概要
常務執行役員 山西 哲司
- 2020年3月期 連結業績見通し
代表取締役社長 石黒 成直

2019年3月期 連結業績概要

常務執行役員
山西 哲司

2019年3月期 通期決算のポイント

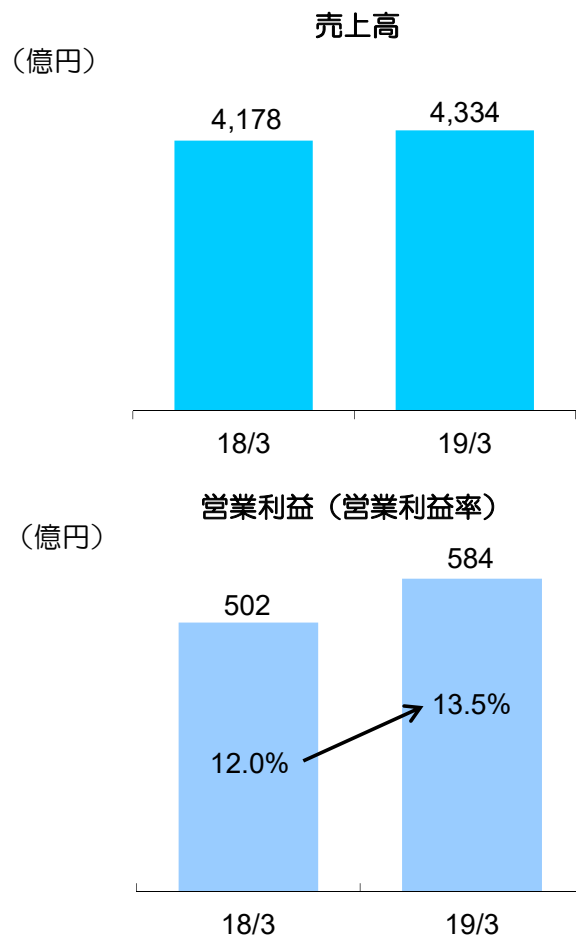
- 売上高、営業利益、税引前利益、当期純利益が過去最高を更新*
 - 売上高は前期比8.7%増、営業利益は20.2%増、営業利益が1,000億円台に*
- ↳ 下半期は中国経済減速の影響を受けるも、通期で前期比増収増益を確保。
- ↳ 二次電池がモバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）に加え、非モバイル用途の販売も増加し全社収益拡大に寄与。
- ↳ 自動車市場向けにセラミックコンデンサの販売が好調に推移し、受動部品の収益基盤を底上げ。
- ↳ HDDヘッド、HDDサスペンションは出荷数量が前期比減少するも、データセンター向け高付加価値製品の出荷割合が増加し、前期比増益を確保。
- ↳ センサ、磁石の収益改善に遅れ。

*利益は2017年3月期計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2019年3月期 連結業績概要

(億円)	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	12,717	13,818	1,101	8.7
営業利益	897	1,078	181	20.2
営業利益率	7.1%	7.8%	+0.7 pt	-
税引前利益	898	1,156	258	28.7
当期純利益	635	822	187	29.4
1株当たり利益 (円)	502.80	651.02	-	-
為替	対ドルレート (円)	110.93	110.94	-
	対ユーロレート (円)	129.64	128.48	0.9%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約50億円の減収 営業利益：約6億円の増益			

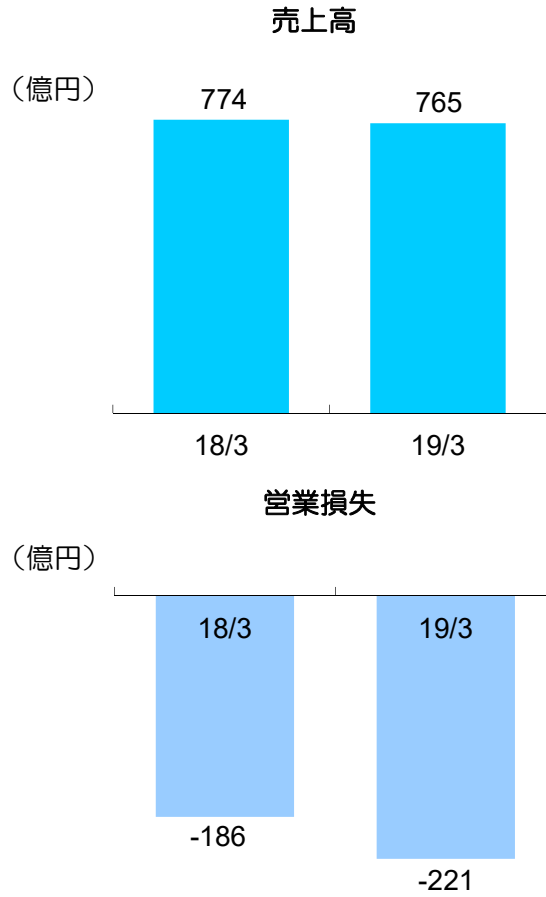
2019年3月期 各事業の状況（受動部品事業）



売上高 4,334億円（前期比3.7%増）
営業利益 584億円（前期比16.3%増）

- セラミックコンデンサ
 - 前期比で増収増益。
 - 自動車市場向け需要が堅調に推移し販売が増加。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - 売上は前期と同水準を維持し、収益性は改善。
- インダクティブデバイス
 - 売上は前期比で増加。
 - 自動車市場及びICT市場向け販売が増加。産業機器市場向け販売は減少。
- 高周波部品
 - 売上は前期比で増加。
 - ICT市場向けの販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - 前期比で減収減益。
 - 自動車市場及びICT市場向け販売が減少。産業機器市場向け販売は増加。

2019年3月期 各事業の状況（センサ応用製品事業）

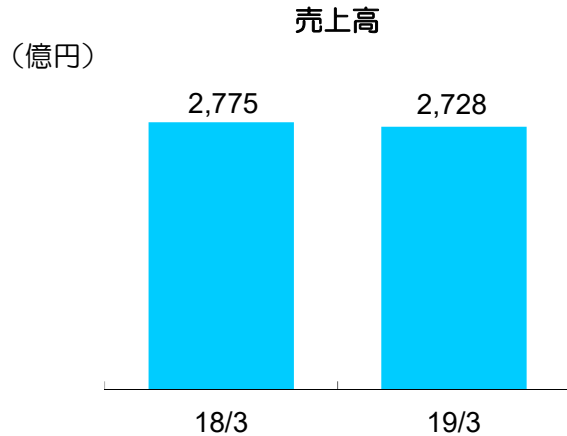


売上高 765億円（前期比1.2%減）
営業損失 △221億円（前期比一%増）

- センサ

- 温度・圧力センサは、自動車市場向け販売が伸び前期比で増収。
- 磁気センサは、自動車市場及びICT市場向け販売が伸び増収。
- MEMSセンサは、ICT市場向けの販売が落ち込み減収減益。

2019年3月期 各事業の状況（磁気応用製品事業）



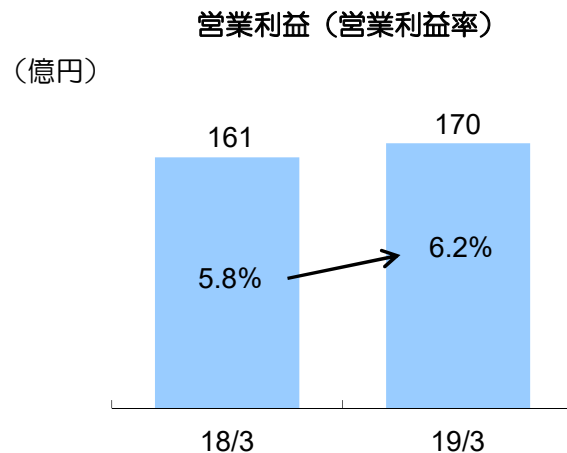
売上高 2,728億円（前期比1.7%減）
営業利益 170億円（前期比5.6%増）

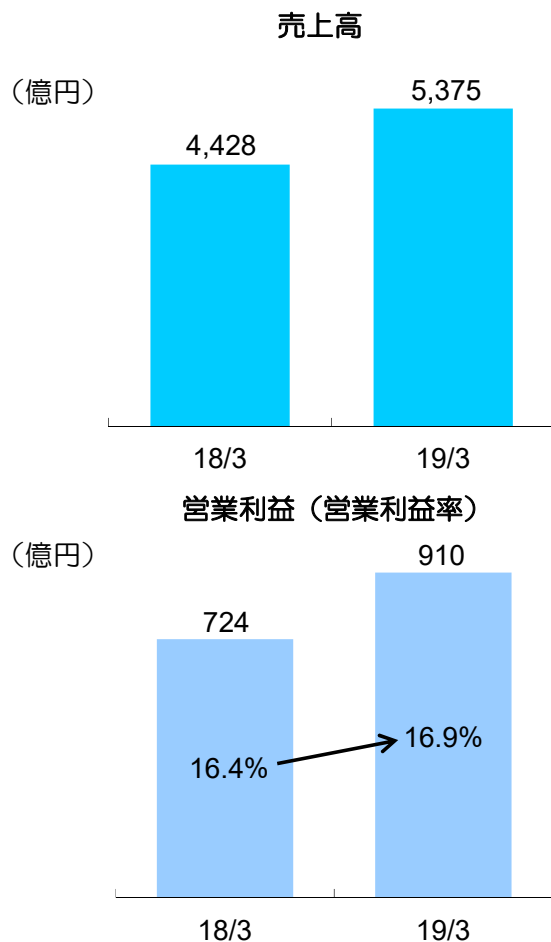
- HDDヘッド・HDDサスペンション

- ↳ 売上は前期と同水準を維持し、利益は増加。
- ↳ HDDヘッド及びHDDサスペンションの製品ミックス良化、さらにサスペンション応用製品（微細金属加工部品）の収益性改善により増益。

- マグネット

- ↳ 前期比で減収減益。
- ↳ 風力発電向け、産業機器向けの売上が減少。
- ↳ 第2四半期に減損を計上。





売上高 5,375億円（前期比21.4%増）
営業利益 910億円（前期比25.7%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - ↳ 前期比で増収増益。
 - ↳ モバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）向けの販売が好調に推移。
 - ↳ 非モバイル用途の新規アプリケーション向けの販売も拡大。
- 電源
 - ↳ 産業機器用電源は、前期と同水準で推移。
 - ↳ EV電源は増収減益。

営業利益増減分析

2018年3月期
897億円

営業利益 +181億円

2019年3月期
1,078億円

(単位：億円)

売上による
利益変動
+394

売価値引き
▲191

合理化
コストダウン
+215

構造改革効果
+14

販売費及び
一般管理費増
▲265

減損損失
▲47

M&A関連
一時費用
+55

為替変動
(US\$=Yen 110.94)
+6

897

1,078

2019年3月期 セグメント別四半期実績

Attracting Tomorrow



(億円)		2018年3月期 第4四半期 (A)	2019年3月期 第3四半期 (B)	2019年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	414	427	423	9	2.2	△ 4	△ 0.9
	インダクティブデバイス	392	395	362	△ 30	△ 7.7	△ 33	△ 8.4
	その他受動部品	253	245	234	△ 19	△ 7.5	△ 11	△ 4.5
	受動部品合計	1,059	1,067	1,019	△ 40	△ 3.8	△ 48	△ 4.5
	センサ応用製品合計	193	197	173	△ 20	△ 10.4	△ 24	△ 12.2
	磁気応用製品合計	669	664	605	△ 64	△ 9.6	△ 59	△ 8.9
	エネルギー応用製品合計	1,004	1,454	1,118	114	11.4	△ 336	△ 23.1
	その他	146	126	176	30	20.5	50	39.7
	合計	3,071	3,508	3,091	20	0.7	△ 417	△ 11.9
営業利益	受動部品	136	147	133	△ 3	△ 2.2	△ 14	△ 9.5
	センサ応用製品	△ 46	△ 55	△ 72	△ 26	-	△ 17	-
	磁気応用製品	6	78	48	42	700.0	△ 30	△ 38.5
	エネルギー応用製品	130	246	121	△ 9	△ 6.9	△ 125	△ 50.8
	その他	△ 18	△ 12	△ 28	△ 10	-	△ 16	-
	小計	208	405	203	△ 5	△ 2.4	△ 202	△ 49.9
	全社および消去	△ 88	△ 77	△ 74	14	-	3	-
	合計	120	328	129	9	7.5	△ 199	△ 60.7
営業利益率		3.9%	9.4%	4.2%	+0.3pt	-	-5.2pt	-
為替	対ドルレート (円)	108.49	112.90	110.23				
	対ユーロレート (円)	133.25	128.87	125.18				

2020年3月期 連結業績見通し

代表取締役社長
石黒 成直

2020年3月期 通期見通しのポイント

- 中長期的には、デジタルトランスフォーメーション、エネルギートランスフォーメーション潮流の加速により、エレクトロニクスビジネスが拡大する環境下において、事業機会獲得を狙う
- 短期的には、米中貿易摩擦、中国経済減速、Brexit等によるマクロ経済への影響が継続する前提に立ち、2020年3月期は中長期的成長のための施策を実行し、中期経営目標の達成に注力する
 - 受動部品、エナジー応用製品は前期から大きな成長を見込まず、磁気応用製品はHDD市場の需要回復が下半期以降になると想定し、確実に収益目標を達成する。
 - センサ、磁石等課題事業の確実な収益改善施策を実行し、全社収益改善を図る。
 - MLCC、非スマートフォン向け二次電池の競争力強化のため、継続的設備投資を実行する。

2020年3月期 連結業績及び配当金見通し

Attracting Tomorrow



	(億円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 業績予想 (2019年4月発表)	業績予想対前期比	
				増減	増減率(%)
売上高		13,818	14,200	382	2.8
営業利益		1,078	1,200	122	11.3
営業利益率		7.8%	8.5%	+0.7 pt	-
税引前利益		1,156	1,180	24	2.1
当期純利益		822	840	18	2.2
1株当たり利益(円)		651.02	665.14	-	-
配当金		上期：80円 下期：80円 年間：160円	上期：90円 下期：90円 年間：180円	-	-
為替	対ドルレート	110.94	108.00	-	-
	対ユーロレート	128.48	122.00	-	-
固定資産の取得 (設備投資)		1,736	2,000	264	15.2
減価償却費		1,066	1,300	234	22.0
研究開発費		1,152	1,200	48	4.2

2020年3月期 通期連結売上高増減イメージ

(億円)

セグメント 区分	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想 (対前年比)
受動部品	4,334	+2~+5%
センサ応用製品	765	+28~+31%
磁気応用製品	2,728	△17~△20%
エネルギー応用製品	5,375	+6~+9%
その他	616	—
合計	13,818	14,200

為替前提

為替レート \$/Yen

110.94

108.00

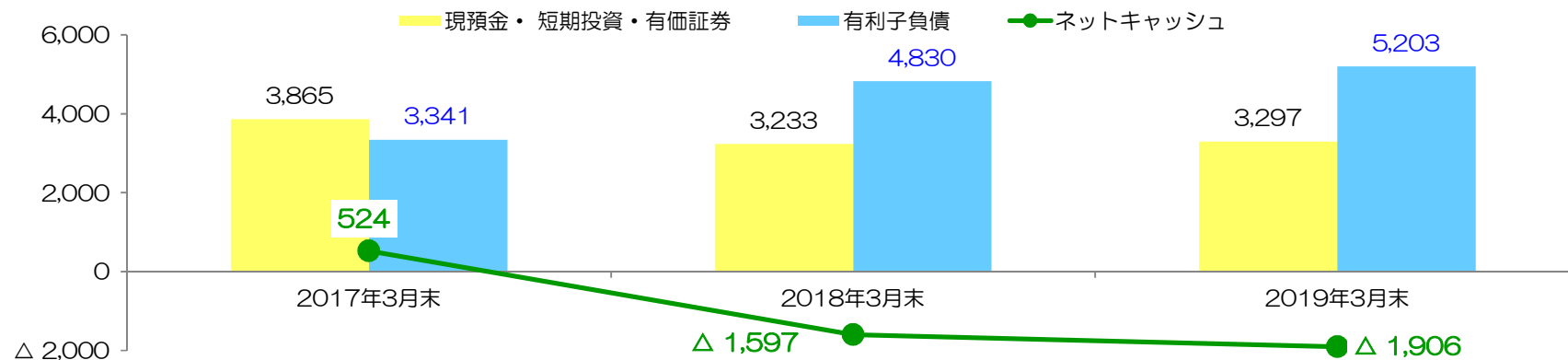
為替レート EURO/Yen

128.48

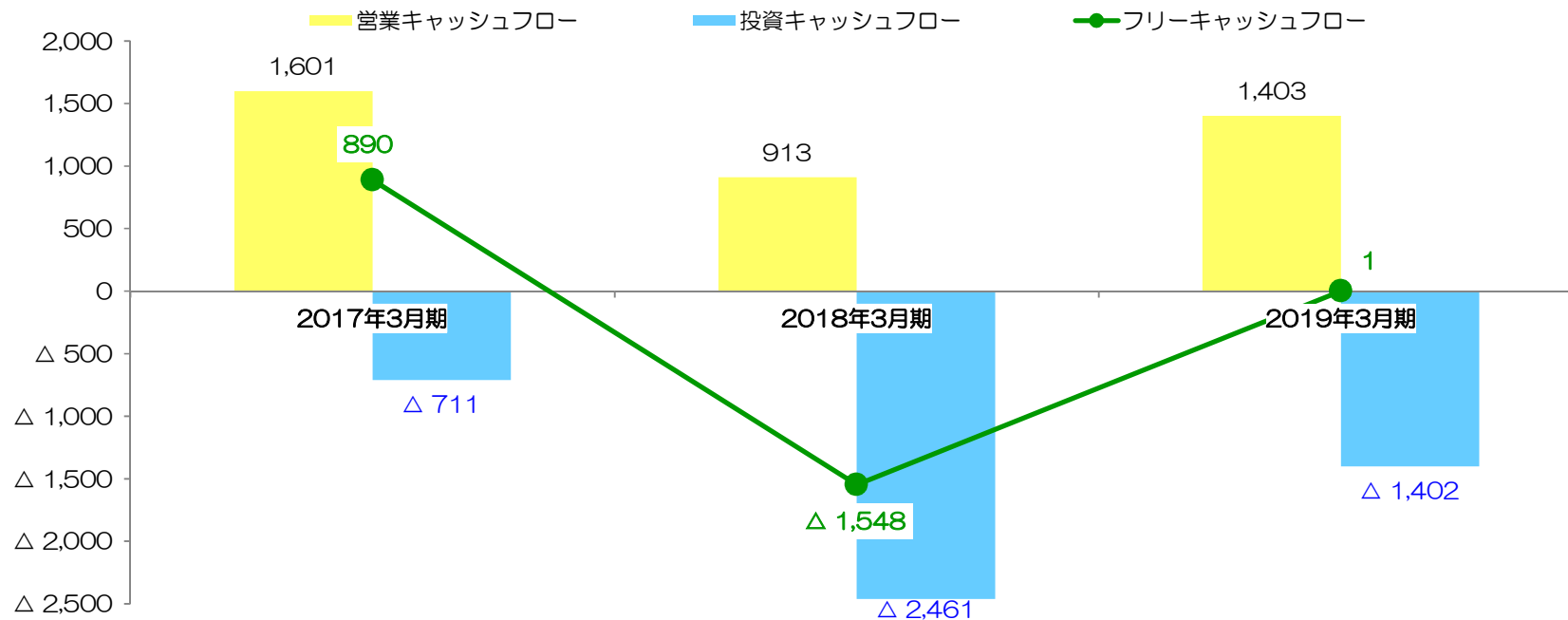
122.00

補足資料

(億円)	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	対2018年比 増減
総資産	16,643	19,052	19,925	873
負債合計	8,622	10,740	11,087	347
株主資本	7,936	8,246	8,773	527
（うち包括利益）	△1,086	△1,195	△1,244	△49
株主資本比率	47.7%	43.3%	44.0%	0.7 pt
現預金・短期投資・有価証券	3,865	3,233	3,297	64
有利子負債	3,341	4,830	5,203	373
ネット・キャッシュ	524	△1,597	△1,906	△309



キャッシュフロー



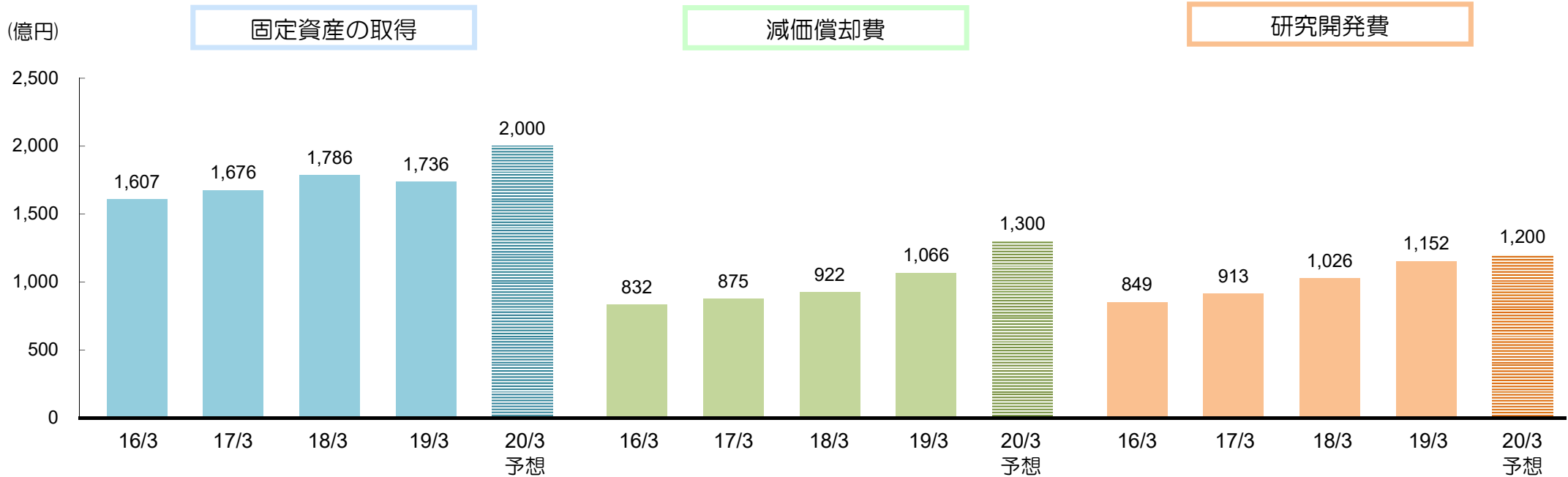
(億円)	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	対2018年比 増減
固定資産の取得	1,676	1,786	1,736	△50
減価償却費	875	922	1,066	144

売上高及び営業利益の四半期推移

(億円)		2018年3月期					2019年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	コンデンサ	363	392	401	414	1,570	445	439	427	423	1,733
	インダクティブデバイス	376	405	403	392	1,575	413	416	395	362	1,586
	その他受動部品	228	262	289	253	1,032	269	266	245	234	1,014
	受動部品合計	967	1,058	1,093	1,059	4,178	1,127	1,121	1,067	1,019	4,334
	センサ応用製品	163	202	216	193	774	189	206	197	173	765
	磁気応用製品	664	718	725	669	2,775	705	754	664	605	2,728
	エネルギー応用製品合計	953	1,222	1,250	1,004	4,428	1,256	1,548	1,454	1,118	5,375
	その他	148	141	128	146	563	154	160	126	176	616
	合計	2,895	3,340	3,411	3,071	12,717	3,431	3,789	3,508	3,091	13,818
営業利益	受動部品	103	128	136	136	502	140	164	147	133	584
	センサ応用製品	△ 45	△ 58	△ 37	△ 46	△ 186	△ 49	△ 46	△ 55	△ 72	△ 221
	磁気応用製品	37	50	69	6	161	35	9	78	48	170
	エネルギー応用製品	135	216	243	130	724	210	333	246	121	910
	その他	14	△ 2	△ 2	△ 18	△ 7	△ 10	△ 17	△ 12	△ 28	△ 67
	小計	244	334	409	208	1,194	325	444	405	203	1,376
	全社および消去	△ 78	△ 58	△ 74	△ 88	△ 297	△ 71	△ 76	△ 77	△ 74	△ 298
	合計	166	276	335	120	897	254	368	328	129	1,078
為替	対ドルレート (円)	111.16	111.01	112.97	108.49	110.93	109.09	111.50	112.90	110.23	110.94
	対ユーロレート (円)	122.02	130.26	133.00	133.25	129.64	130.16	129.63	128.87	125.18	128.48

2020年3月期各種費用見通し及び為替感応度

各種費用

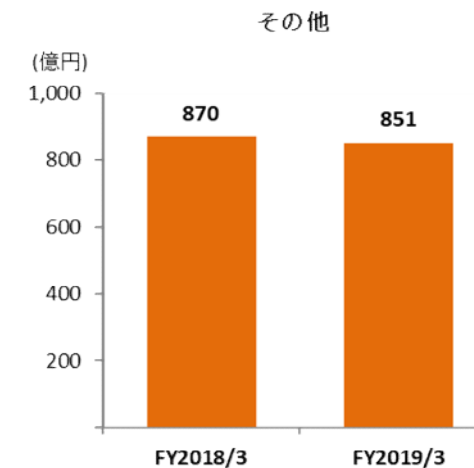
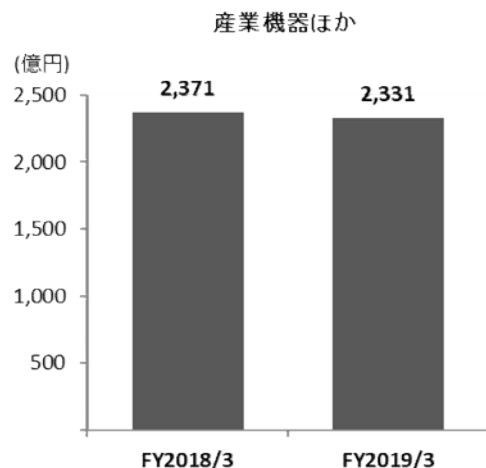
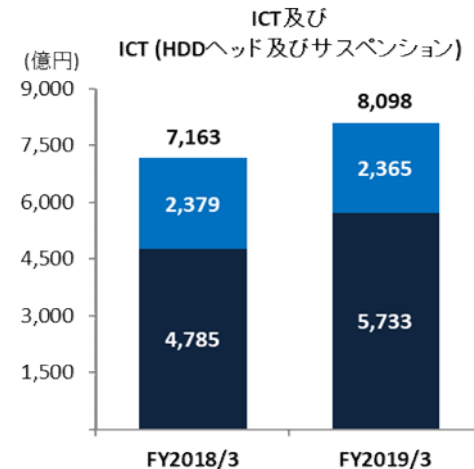
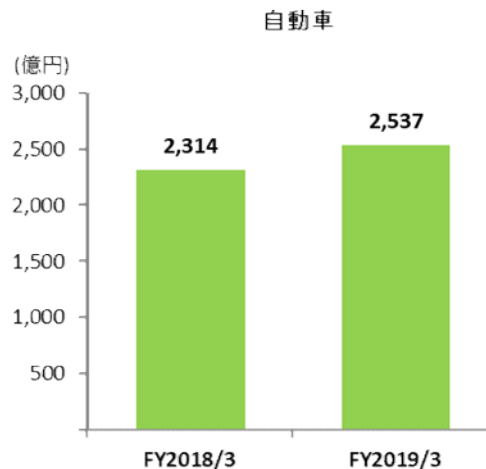
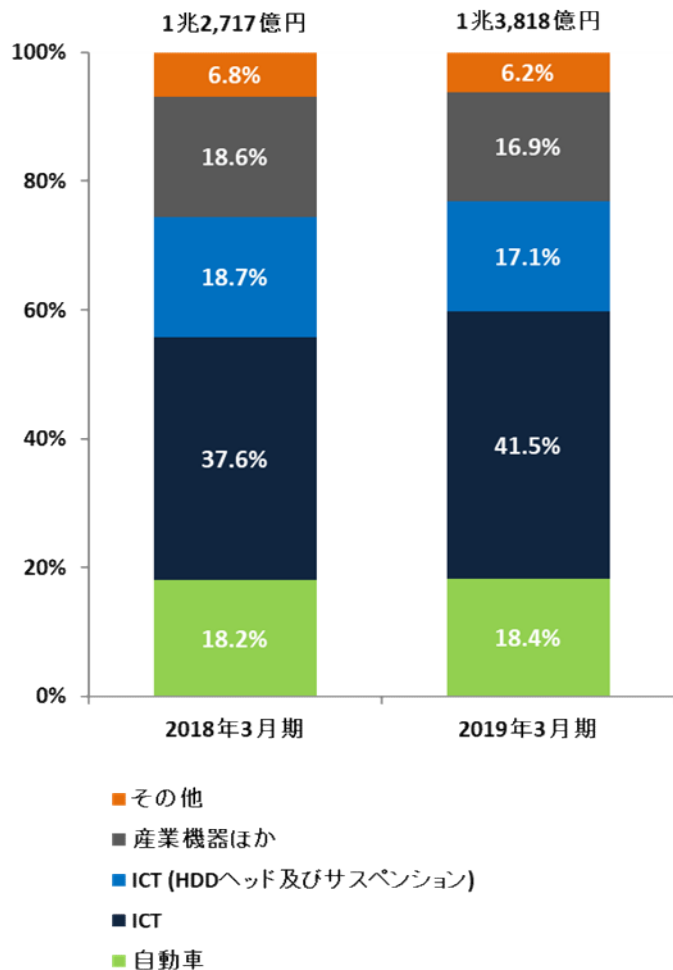


為替感応度（1円の変動による影響額）

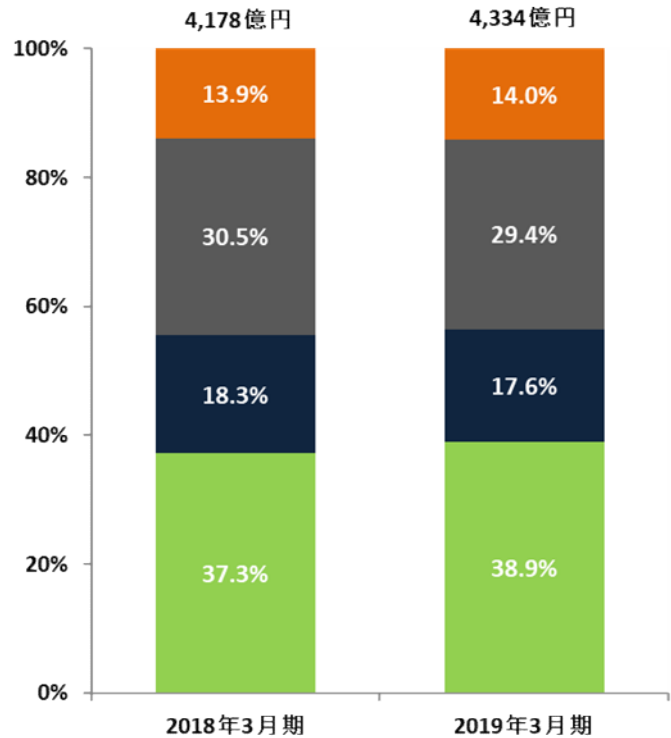
●ドル：売上70億円、営業利益12億円

●ユーロ：売上15億円、営業利益2億円

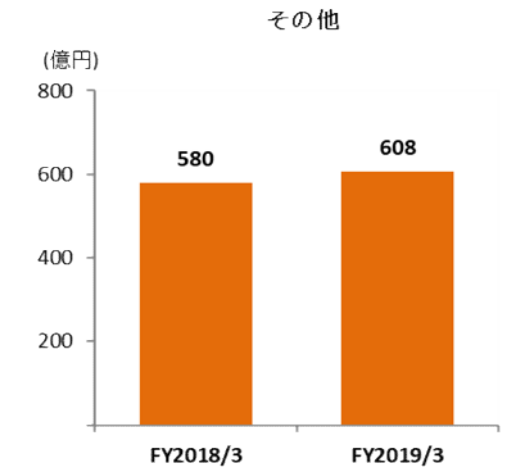
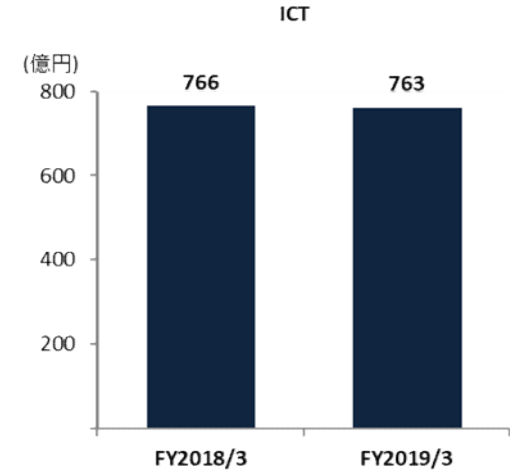
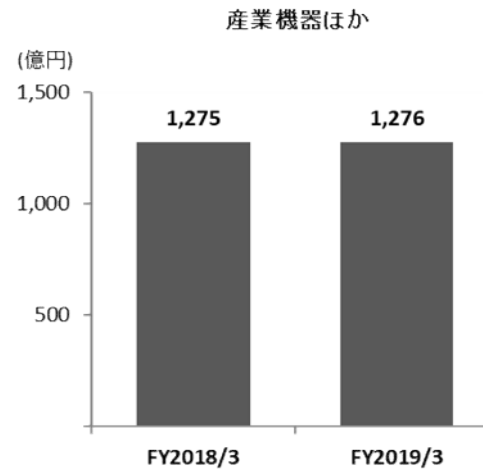
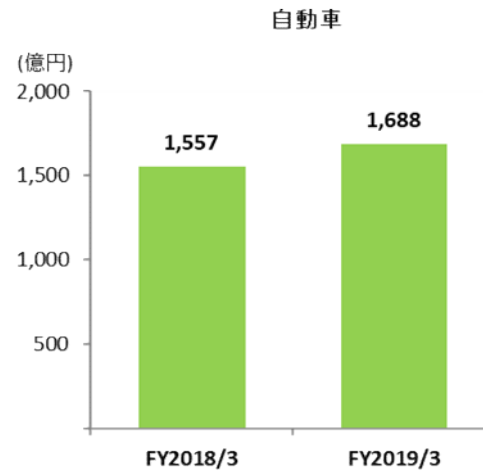
全社 分野別通期売上高推移 (2018年3月期～2019年3月期)



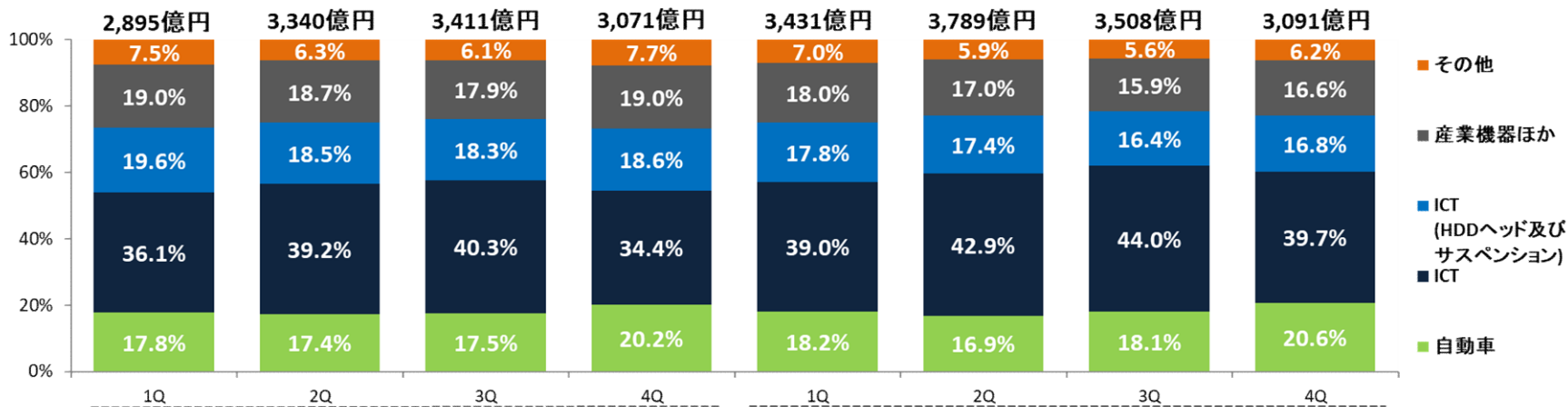
受動部品 分野別通期売上高推移 (2018年3月期～2019年3月期)



- その他
- 産業機器ほか
- ICT
- 自動車

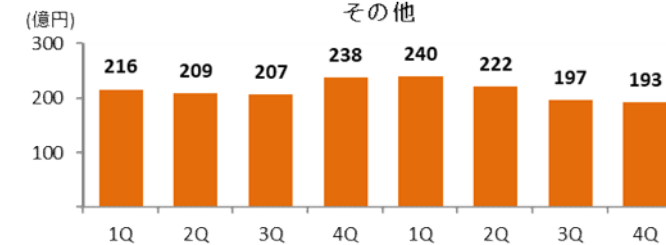
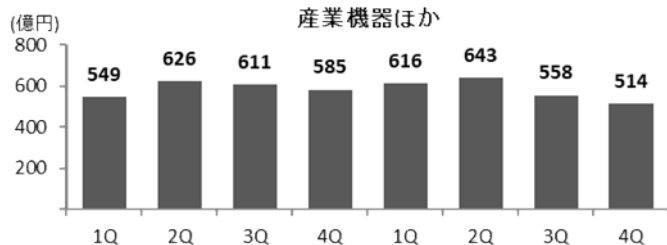
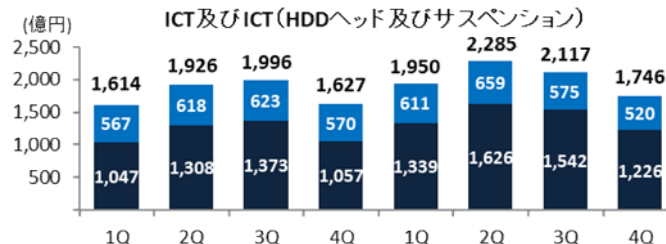
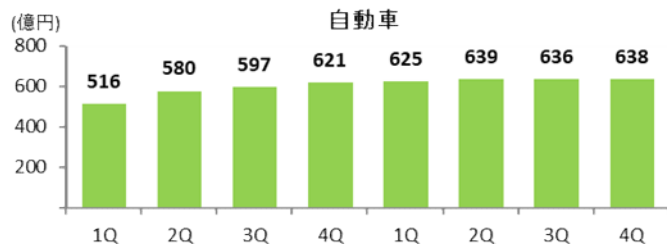


全社 分野別四半期売上高推移 (2018年3月期～2019年3月期)

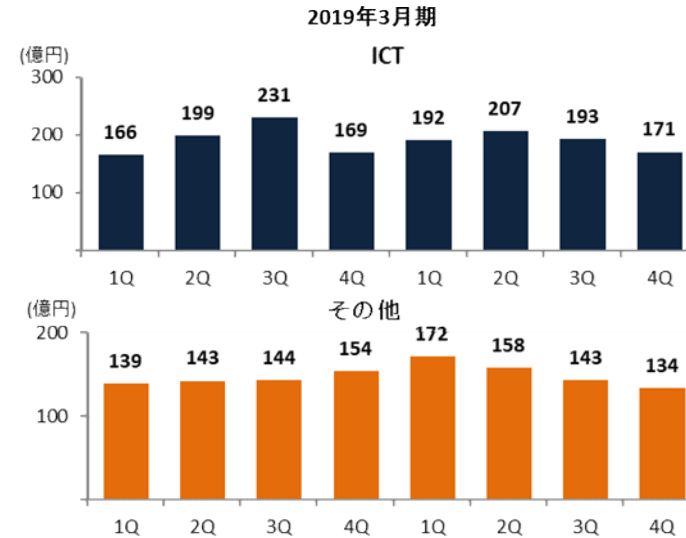
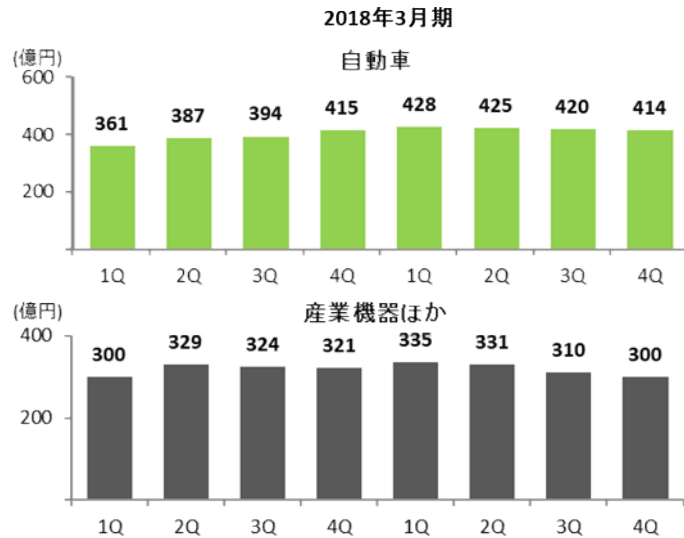
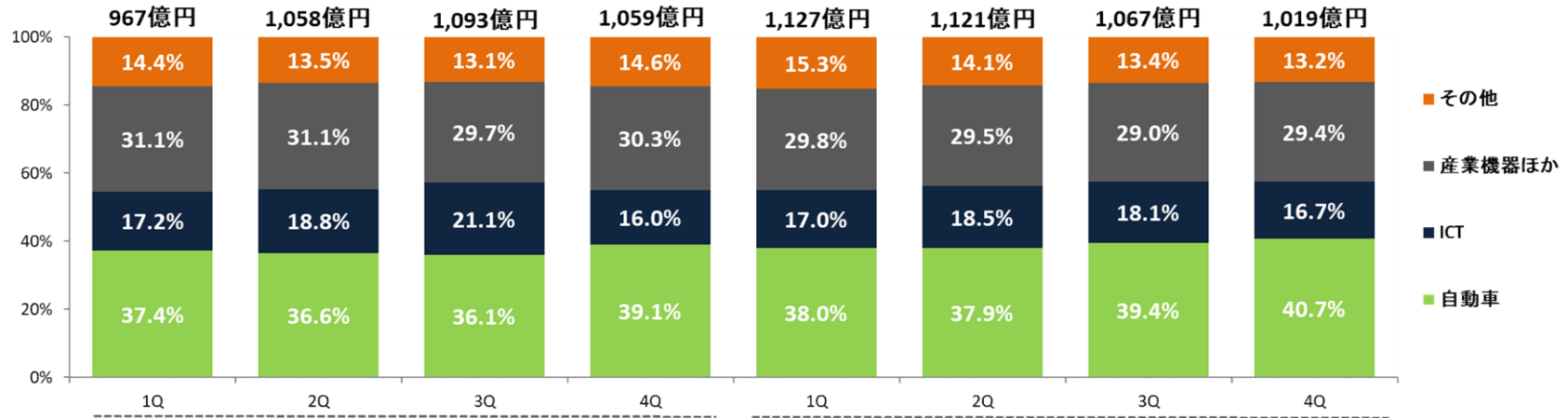


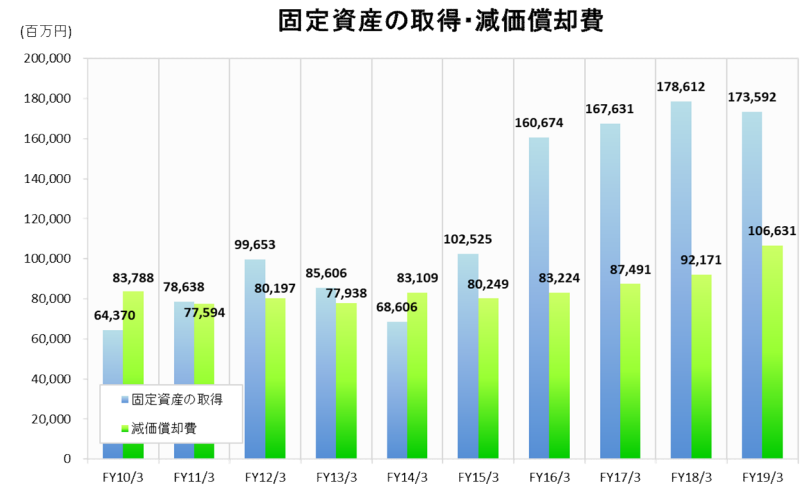
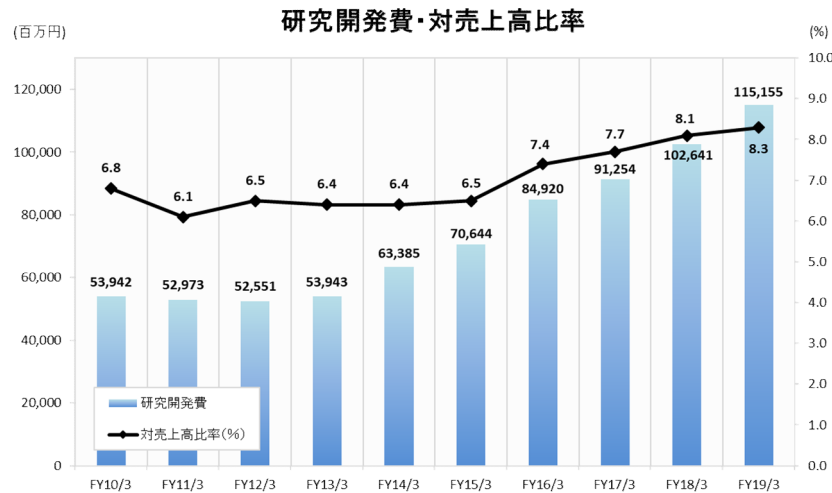
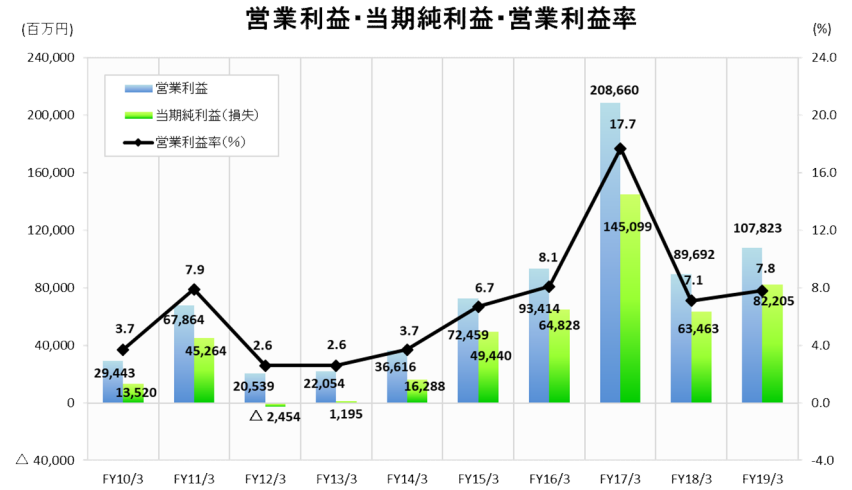
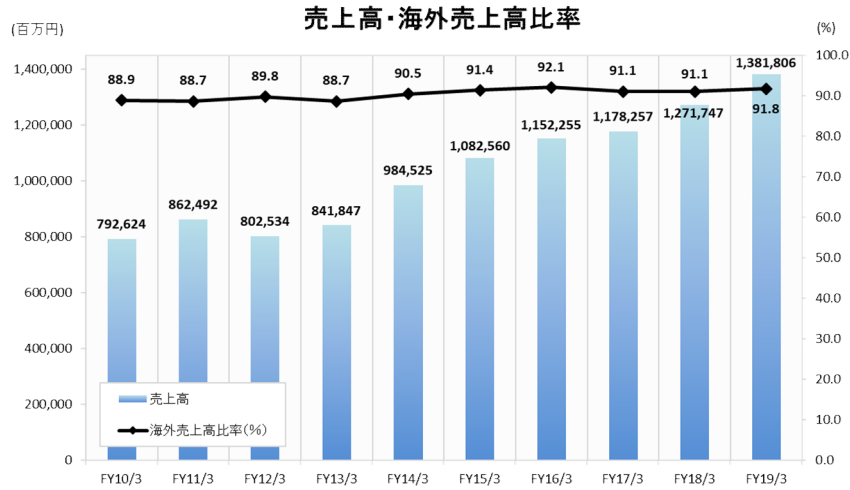
2018年3月期

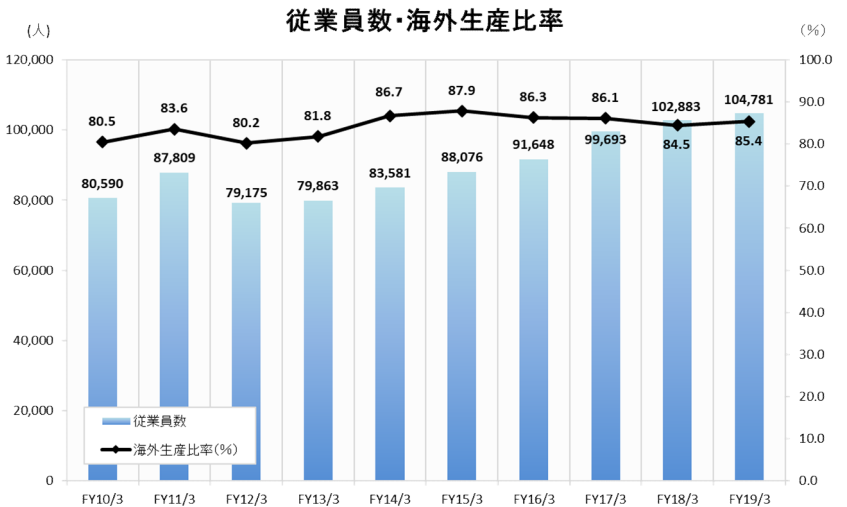
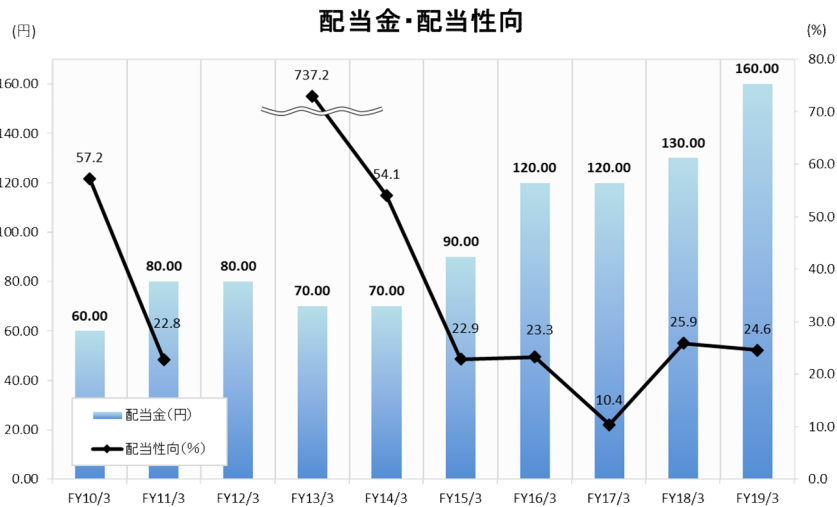
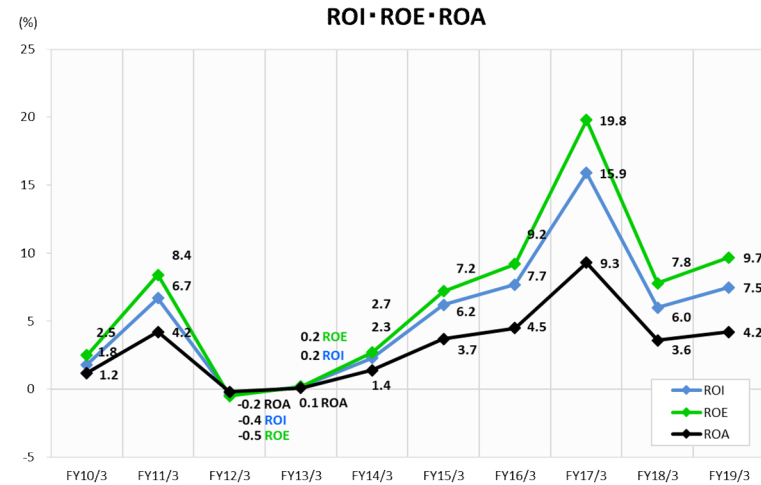
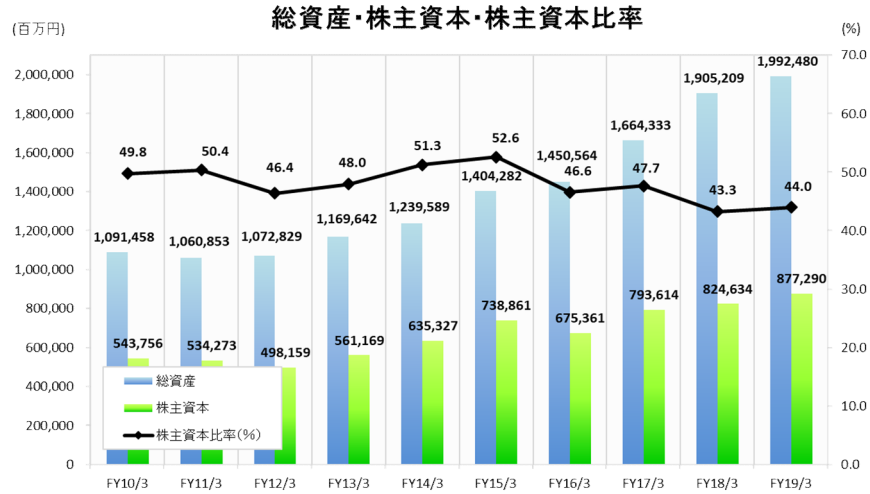
2019年3月期



受動部品 分野別四半期売上高推移 (2018年3月期～2019年3月期)







この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。
https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2019/4q_1.htm